

成田市教育委員会会議事録

令和5年6月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和5年6月27日 開会：午後3時 閉会：午後3時46分

会 場 成田市役所3階 第二応接室

教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員 (教育長職務代理者)	佐 藤 勲
委 員	片 岡 佳 苗
委 員	岡 本 秀 彦
委 員	日 暮 美智子

出席職員

教育部長	小 川 雅 彦
教育部参事	保 立 和 彦
教育総務課長	伊 藤 真理子
学校施設課長	越 川 房 邦
学務課長	林 英 樹
教育指導課長	三 村 洋 一
生涯学習課長	野 村 貴 子
学校給食センター所長	福 島 由 規
公民館長	大 隅 光 夫
図書館長	高 仲 浩 一
教育総務課長補佐 (書記)	神 崎 裕 一

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 岡本委員、日暮委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○6月5日 校長人事評価面談について（成田中、西中）

まだ面談を終えてなかった2校の校長と面談をしました。それぞれの学校の校長先生はこれまで数々の難題に立ち向かっていった経験があり、ご本人の強い思いが反映された学校経営方針を伺うことができました。どの学校の校長にも言えることですが、現場で直接子どもを指導する教員の実情をよく理解し、それぞれに意欲を持たせ、自分の持ち味を発揮していけるよう、信頼される管理職であってほしいと願っています。

○6月14日 令和5年度第1回成田市学校支援地域本部事業運営委員会について

今年度は市内18校で学校支援地域本部事業が行われることになりました。コロナ禍で思うような活動ができない時期がありましたが、今年度は通常の活動ができる状況にあります。コミュニティースクールとしての初年度にあたりますが、それぞれの組織で創造的な活動が展開されることを期待しております。また、学校支援地域本部事業も、学校運営協議会と連携を密にして、地域の学校応援団としての機能を十分に発揮できるよう努めていただければ幸いです。

市議会

○6月9日～6月28日

令和5年6月定例会について

本定例会は、市議選後初めての定例会となりました。新人議員さんからは、一般質問で教育委員会への質問もあり、それぞれ、丁寧にお答えさせていただきました。なお、今回は18人の議員さんから一般質問があり、このうち11人が教育に関連する質問でした。内容についてはケーブルテレビでも放映しておりますのでここでのご報告は省略させていただきます。

なお、今議会では、教育委員会から本城小学校の普通教室増築棟4級併行防音工事と学校給食センターのスチームコンベクションオープン購入に関する請負契約2議案が提案されており、

明日の本会議で議決される見込みです。

6月20日 教育民生常任委員会

常任委員会では、ただいま申しあげました2議案を審議していただき、全会一致で可決されました。また、成田小学校の改築基本計画と部活動の地域移行について報告し、委員のご質問にお答えいたし、ご理解を得たところです。

その他

○5月27日 青少年相談員連絡協議会60周年事業「Young うなバレー大会」について

これまで、夏休みに入ってから行われていた青少年相談員連絡協議会主催のオールナイトハイクは今年度は実施せず、代わりに「うなバレー」を行うことになりました。各中学校に参加チームを募集したところ、3チームのみの参加となりました。他にも1チームほど参加予定でしたが、直前に不参加となったようでした。さすがに子ども達よりも主催する青少年相談員の方が多い大会では、盛り上がりも見られませんでした。「うなバレー」は、成田市で開発されたバレーボールで、誰でも気軽に参加できるスポーツとして周知されているところですが、そもそもバレーボールという競技そのものを楽しむ経験の少ない子ども達にはなじみが薄く、参加意欲が湧かなかったのだと思います。

○5月29日 北総教育事務所 管理主事訪問について（美郷台小、久住中）

北総教育事務所の学校訪問、今回は美郷台小と久住中を訪問させて頂きました。両校の授業を見て思うのは、タブレットが教具として十分に活用できてきたということ。ただ、これがどう学力の向上に結び付いていくかは、使い方次第だと思いました。とにかく子ども達が扱い方に慣れてきているのは実感できます。また、気になったのは教師の言葉遣いです。教師の言葉は、最も大切な教室の言語環境です。相変わらず、上から目線のような言葉遣いだったり、子どもと友達同士のような言葉を使ったりする教師も多く見られました。対照的にきれいな言葉で余計なことは言わず、きちんと指導できる教師もありました。そうした教師の授業は子ども達の学びに向かう姿勢がはっきりと感じられ、大変引き締まった授業となっていました。どの学校でもこうしたことに配慮し、少しでも言語環境を改善できるよう努めてほしいと思いました。

○5月30日 第50回 印旛郡市小学校陸上競技大会について

重兵衛スポーツフィールド中台陸上競技場で印旛地区の小学生による陸上競技大会がありました。この大会にはこれ以前に行われた各部会の大会で上位に入賞しないと出場権が与えられ

ません。本市の子ども達は部会の大会で活躍し、今回も大勢の子が本大会に参加していました。中でも、6年男子100メートル、6年男子走り高跳び、6年女子4×100mリレーでは見事に優勝。6年男子走り高跳びは、これまでの記録を11cm更新する143cmという郡新記録。また、6年女子のリレーでは、優勝した成田小以外に、2位に公津の杜小、4位に久住小が入るなどの活躍が見られました。また、全種目を通じ、8位までに入賞したチームや個人は39という好成績でした。

○5月30日 第2回市制施行70周年記念事業実行委員会について

第2回目の会議では、基本テーマの選定について、ロゴマークの決定について、協賛事業の取り扱いについて、記念事業案の進行管理についての4つを議題として協議しました。その結果、基本テーマは「人を繋ぐ 歴史を繋ぐ 未来へ繋ぐ みんなの成田」と決定しました。このテーマは4月に一般募集を開始し、5月初旬で応募を締め切った結果、806作品の応募があり、事務局でこの中から13点を選出、この日の会議で全委員の投票により13点の中から選ばれたものです。また、ロゴマークはうなりくんの作者に依頼し作成されました。今後、市で使用する印刷物や封筒のほか、PR用の啓発物資で使用する予定です。

○6月1日 北総教育事務所 所長訪問について（豊住小）

今年度初めての所長訪問が豊住小であり、授業参観をしました。佐藤委員も一緒でしたので詳細はご報告いたしません。小規模の良さを生かした学校運営に所長さんも大変良い印象を持たれたようでした。

○6月2日 北総教育事務所 次長訪問について（遠山小）

遠山小の北総教育事務所次長訪問にも参加いたしました。同じ小規模校でも、豊住小とはまた違った雰囲気のある学校で、子ども達の様子もそれぞれだな、という印象でした。どっちがどう、という訳ではありません。やはり大切なのは指導者である教員の人間性や指導力だと思います。

○6月3日 令和5年度成田市PTAバレーボール大会について

昨年度は公津の杜小学校チームが優勝し、県大会でも第3位になったと伺っていましたが、県大会のレベルの高さを知っている私は、コロナ禍だったし、参加チームが少なかったのかなあ、などと思いつつ、今大会を見たのですが、大変レベルの高いチームがそろってきたな、とい

う印象を持ちました。

聞けば、普段からクラブチームで練習している方も多いたか。見事なプレーぶりを是非子ども達にも見てもらいたいと思った次第です。なお、今大会では、吾妻小学校チームが優勝しました。層の厚いチームのようでしたので、この後の郡大会でも是非活躍し、県大会に参加してほしいと思いました。

○6月3日 令和5年度一般社団法人成田市スポーツ協会定時社員総会・表彰式について

スポーツ協会の総会と表彰式に参加しました。スポーツ協会の皆さんには学校の部活動の指導者としてもご協力いただいておりますし、今後も部活動の地域移行にご協力を頂くことも多いかと思えます。しっかりと協力関係を維持していきたいと思い、参加した次第です。また、表彰式では市内の小中学生も各種大会で活躍し、表彰されておりました。今後、中学校の総合体育大会も行われ、夏休み後半には、関東大会や全国大会に参加した選手の報告会も予定されております。活躍を期待したいと思いました。

○6月5日 令和5年度一般財団法人印旛教育会館第1回評議員会について

印旛教育会館の評議員として、年2回の予定で実施される評議員会に出席してまいりました。

印旛教育会館の運営は現職教職員の拠出金でまかなわれています。しかしながら昨今の教員不足と再任用教職員の増加から、収入が減少し、今後の維持が難しい状況になっていました。こうしたことから供出金の値上げや、再任用教職員からの拠出もお願いしている状況です。既に教職を退職され、教育会館を無料で自由に利用されている方々には、この状況が十分に理解されているとは思えませんが、何とかやりくりして施設の維持管理、そして建て替えも視野に入れた運営に尽力されている小館専務理事のご苦勞をわかっていただきたいと思った次第です。

○6月5日 「第41回JSBA全日本スノーボード選手権大会」優勝報告会について

久住中学校をこの春卒業した生徒と、その弟で現在久住中学校生徒である兄弟が、スノーボード選手権で活躍され、その報告を兼ねた表敬訪問がありました。市内で生活し、スノーボードの技を磨くのは並大抵の苦勞ではありません。ご両親も大会や練習のたびに雪のある地方のスキー場まで車を走らせる日々が続いているそうです。家族みんなで協力し合っただけでここまで来ているという思いを改めて感じさせてもらったところです。

○6月10日 千葉県立下総高等学校学校授業公開について

下総高等学校の学校運営協議会委員に委嘱されていることから、この日の授業公開に参加しました。はじめは一般教科の授業、次に専門科目の授業を見せてもらいました。一般教科では特に英語の授業が印象的でした。手元に iPad プロをおいて、マジックキーボードで入力した文章や図を大画面に映すなど、板書代わりに大型ディスプレイを利用している先生の授業は大変興味深く、分かりやすいものでした。生徒も集中して授業に臨んでいました。また、専門教科の授業では園芸科の先生の話に引き付けられました。マスクメロンの栽培に関連して、その肥料として、光合成細菌を利用した有機栽培をしているという話です、光合成細菌は冬場、田んぼでトラクターのタイヤ跡にたまった水たまりにできる赤っぽいこけのようなもので、その餌となるのがアミノ酸で、アミノ酸は魚由来の出汁にたくさん含まれており、これと光合成細菌を混ぜるとどんどん増えていく。そこで、利根川で釣ってきた外来魚を大鍋で煮て、できた煮汁に光合成細菌を混ぜ、培養して有機肥料をつくるという話です。200mlの光合成細菌が含まれた水からその10倍の量の肥料が簡単にでき、その後もどんどん増やせるという話は、本当に驚きでした。

この先生は釣りが趣味で、自分の趣味を生かした有益な肥料づくりをみだすことができたと言っておられました。釣り上げた魚は外来種ばかりだそうで、川の厄介者として知られる魚です。こうした魚の駆除にわずかでも貢献し、それが有機肥料の基になり、まさにSDGsに即した肥料づくりだと胸を張っておられました。素晴らしい取り組みだと思いました。下総高等学校が今後の生き残りをかけて一生懸命取り組んでおられる感じが感じられた1日でした。

○6月18日 成田市大栄B&G海洋センタープール救護室配備式及びB&Gカヌー・SUP体験会について

B&G財団から、大栄B&Gのプール内に救護室を設置してもらったことから、その設置式と子ども達のカヌーとSUPの体験会が行われ、私もこれに参加してまいりました。救護室にはエアコンが設置されており、夏場の暑さしのぎもできますし、様々な救護用品もそろえてありました。プール利用者が急に具合が悪くなったりしたときに有効に活用できるものです。このプールは大栄みらい学園の子ども達の水泳授業でも使われるため、大変ありがたく感じているところです。この日は大変暑い日で、テント張りのような室内プールの中はまさにサウナ状態でした。じっとしていても体中から汗が噴き出すような暑さで、たまたら救護室の中に入り、涼んでいたりしました。

○6月20日 北総教育事務所 次長訪問について（公津の杜中）

公津の杜中学校を訪問しました。市内で最も生徒数の多い中学校です。

1 教室に生徒が38人という学級もあり、まさに定数ぎりぎりの状態で授業をしていました。学級数も多いことから所属する職員数も多く、校長先生も毎日何が起こるかわからない日々です。おっしゃっておられました。しかし、人が多ければ活気もあり、様々な体験を通じて学びの輪も広がります。生徒も教師も向上心をもって互いに切磋琢磨しつつ、より良い学校づくりに努めていってほしいと思いました。

○6月23日 公益財団法人印旛郡市文化財センター第12回定時評議員会について

印旛郡市文化財センターの評議員会があり、私は副理事長ということで、理事長、監事とともに出席してまいりました。評議員は4名中3名の出席で、議案は1件「令和4年度事業報告及び令和4年度貸借対照表、正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書の承認について」のみで、他に令和5年度事業計画及び収支予算について報告がありました。議案、報告事項ともに特に質問もなく、可決承認されました。

○6月24日 「ユニセフ・ラブウオーク IN 下総」について

私が栄町教育委員会の学校教育課長だった頃、当時小中学校の保護者から選出された教育委員として福本さんという方がいらっしゃったのですが、この方が現在、千葉県ユニセフ協会の事務局長を務めており、このユニセフ協会が主催する「ユニセフ・ラブウオーク」に招かれ、出席してまいりました。このラブウオークは、例年栄町の房総の村を起点にして実施されておりましたが、今年は初めて下総地区で開催されました。「しもふさ七福神巡り」の一部を実施するような形で、10キロコースと、3.5キロコースの2コースが設定されておりました。いずれのコースも「成田市滑河文化財保存展示施設」に立ち寄ることになっていて、旧下総町4小学校の歴史も感じてもらえる内容になっていました。このラブウオークは、参加者から少しだけユニセフに寄付していただくとともに、協賛者からの支援で抽選会も行うなど、県内の広い地域から参加があったようです。当初は60名の予定で募集したところ100名近くの応募があり、賑やかな催しとなりました。事務局長の福本さんは私よりも一回り若い方ですが、相変わらずバイタリティーのある方で、その熱意刺激を受けてまいりました。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：私も何校か学校訪問をさせていただきましたが、先ほど教育長からもありましており、特に中学校での言葉使いについては、以前に比べると丁寧な言葉で指導される先生が多くなってきたと感じております。丁寧な言葉で子どもたちと接するは、落ち着いた教育環境になると思いますので、引き続きそういった対応をお願いしたいと感じました。

また、下総高等学校は、自動車部以外にも特徴のある教育活動を通じて、生き残りのための様々な活動をされているとのことで、ありがたいなと感じました。

各学校をまわっていると、タブレットを使った教育活動が浸透してきていると感じています。西中学校では、授業終了後に子どもたちが授業をどう感じたか等を天気記号で入力しており、これらを取りまとめて子どもたちの様子を把握することに活用されておりました。タブレットの耐用年数を考えると、今後数年で交換の時期を迎えると思われしますので、導入時と同じく国の予算で対応してもらえるのか、それとも今後は市の予算で対応しなくてはならないのか、いろいろと考えなくてはならない時期に来ると思いますので、総合教育会議等の場で、市長さんにもそういった対応や準備について意見を述べさせていただこうかと考えております。

片岡委員：先月、埼玉県加須市で開催された、関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会に参加してまいりました。

大変勉強になりましたが、有名な方の講演会だけではなく、他の教育委員の交流や意見が聴けるような研修もあるとよいのではと感じました。

学校訪問をいくつか行かせていただいたの感想なのですが、遠山小の老朽化がとても気になりました。地下水を汲み上げる際の音とのことでしたが、授業の妨げになるくらいでしたので、早急に対応していただければと思いました。各校とも授業展開は、どの学校もICTを活用させており、子どもたちもタイピングがすごく早く、使いこなしているなと感じました。また、先生方も慣れていく様子で、わかりやすい授業をされておりました。

岡本委員：私も学校訪問に2校参加させていただきました。特に興味深かったのが、低学年の児童で、紙とはさみと糊を使った作業には時間を要しておりましたが、タブレットを立ち上げてアプリを立ち上げる操作はとても速くて、子どもたちがうまく使えることに感心させられました。

日暮委員：私は、小学校3校と中学校2校の学校訪問に同行させていただきました。コロナの規制が解けて、授業の幅が広がってきていると感じました。

また、学習サポーターや養護補助員等の力が大きいと感じました。ある小学校では、初任者の先生が引き算の授業の中で、本物のチューリップの花を3本用意されていて、子どもがプレゼントとして1本選んだ場合に何本残るのか、といったところから引き算の式を考えるという内容を行っておりました。その後の練習問題を解く場面では、経験を積まれた学習サポーターの方が、素早く子どもたちの間に入り支援をされている様子を拝見しました。このような授業が成立するのは、初任者の先生の頑張りもありますが、こういう個々に補助してくださる先生の力もすごく大きいと感じましたので、こういった市の支援制度は引き続きお願いしたいと感じました。

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号から議案第4号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により非公開により審議する。

《これより非公開》

議案第1号「成田市教育事務評価委員の委嘱について」

伊藤教育総務課長：

成田市教育事務評価委員の委嘱であります。この制度は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を公表しなければならない」とされております。

点検・評価にあたっては、教育に関する学識経験者の知見を活用することとされていることから、「成田市教育事務評価委員設置要領」を定め、毎年、点検・評価を実施しているところであります。

資料の2ページをご覧ください。

本案は、江邨 一男 委員、多田 初枝 委員の任期が満了となることから、引き続き、江邨委員、多田委員を委嘱すること、また、秋山 皓一 委員、軸屋 美恵子 委員が本年3月31日をもって解嘱となったことから、後任の委員として、加藤 智明 氏、濱田 静 氏を新規に委員として委嘱しようとするものでございます。

経歴につきましては、資料に記載のとおりでございますが、いずれの方も学校教育や社会教育など様々な分野でご活躍されており、教育に関し相応の知見を有していることから、適任であると考えております。

なお、任期は4名とも、令和5年7月1日から令和7年6月30日までの2年間となります。

ご承認いただいた上は、竹尾委員とともに、今年度の点検評価をお願いすることとなります。

《議案第1号に対する質疑》

特になし

関川教育長：特になさいますので、議案第1号「成田市教育事務評価委員の委嘱について」を

採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

議案第2号「令和6年度使用教科用図書を選定について」

林学務課長：

成田市教育委員会として、令和6年度に使用する小学校教科書及び学校教育法附則第9条の規定による一般図書などの選定を行うものです。7月4日に開催される第2回教科用図書印旛採択地区協議会に、本市教育委員会を代表して関川教育長と佐藤教育長職務代理者にご出席いただきにあたりまして、本市教育委員会としての選定をどのようにするか、本日、午前より調査・協議いただきました。

その結果ですが、まず小学校の教科書については、議案書1、2ページをご覧いただきたいと思いますが、「国語—光村図書」「書写—光村図書」「社会—東京書籍」「地図—帝国書院」「算数—啓林館」「理科—啓林館」「生活—光村図書」「音楽—教育芸術社」「図工—開隆堂」「家庭—開隆堂」「保健—光文書院」「外国語—教育出版」「道徳—日本文教出版」のように話し合いが行われましたので、ご確認の上、ご選定をお願いいたします。

特別支援学級で使用する附則9条図書ですが、議案書の4ページをご覧ください。

今年度新たに4冊が選定の候補に加わりました。今回新たに加わった4冊につきましては、4冊を適とすることをご意見を伺いました。

《議案第2号に対する質疑》

特になし

関川教育長：特にないようですので、議案第2号「令和6年度使用教科用図書の選定について」

を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第3号「成田市学区審議会委員の委嘱について」

林学務課長：

成田市学区審議会委員の任期が令和5年6月30日をもって終了するため、成田市学区審議

会設置条例第2条第2項の規定により、10人の方に委嘱しようとするものです。10名のうち、6名の方が再任、4名の方が新規であります。

まず、公立学校長である第1号委員ですが、内田 淳 委員、村田 正志 委員の両名共に再任です。内田委員につきましては、異動により勤務校に変更があります。

次に公立学校保護者である第2号委員ですが、篠崎 直美 委員、津守 潤 委員ともに新規です。

次に、識見を有する者である第3号委員ですが、渡邊 昌美 委員、坂内 恭子委員、江邨 一男 委員の3名の方が再任、富岡 正史 委員が新規です。

そして、市長事務部局の職員である第4号委員ですが、谷平 裕美 委員は再任、鬼澤 正春 委員が新規となりますが、年度末の定期異動に伴い4月の教育委員会会議でご承認いただいております。

《議案第3号に対する質疑》

特になし

関川教育長：特にないようですので、議案第3号「成田市学区審議会委員の委嘱について」を採

決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第4号「成田市立図書館協議会委員の委嘱について」

高仲図書館長：

本案は、現在の協議会委員の任期が、本年6月30日をもって満了となることから、成田市立図書館設置条例第3条の規定により、新たに委員を委嘱しようとするものでございます。

なお、新たな委員の任期は、令和5年7月1日から令和7年6月30日までとなります。

資料の1ページをご覧いただきたいと思います。

第1号委員につきましては、「学校教育の関係者」として、成田市校長会の推薦をいただきま

した、中台中学校の 内田 淳 校長先生、並びに、成田市教育推進の推薦をいただきました、成田小学校の 保坂 尚 教諭の2名でございます。内田 淳 校長先生は再任、保坂 尚 教諭は新任でございます。

第2号委員につきましては、「社会教育の関係者」として、成田市社会教育委員の推薦をいただきました、日暮 健 氏、並びに、成田市生涯学習推進協議会の推薦をいただきました、櫻井 大輔 氏の2名でございます。日暮 健 氏は再任、櫻井 大輔 氏は新任でございます。

資料の2ページをご覧くださいと存じます。

第3号委員につきましては、「家庭教育の向上に資する活動を行う者」として、成田市PTA連絡協議会の推薦をいただきました、岩舘 司 氏でございます。再任となります。

続きまして、第4号委員につきましては、図書館の「利用者」として、普段から図書館をよく利用していただいております方の中から、清慶 明日香 氏、並びに、御堂丸 正子 氏、赤川 智美 氏でございます。清慶 明日香 氏は再任、御堂丸 正子 氏、赤川 智美 氏は新任でございます。

第5号委員につきましては、「識見を有する者」として、大学講師の 野村 豊 氏、成田市文化財保護協会の 深田 富佐夫 氏でございます。野村 豊 氏は再任、深田 富佐夫 氏は新任でございます。

《議案第4号に対する質疑》

片岡委員：内田先生は、先ほどの学区審議会委員と重複されておりますが、兼任は問題ないのでしょうか。

高仲図書館長：委員の兼任については特に制限はありません。選任にふさわしい方、選出する団体からふさわしい方を推薦していただいております。

関川教育長：その他、何かございますか。

特にないようですので、議案第4号「成田市立図書館協議会委員の委嘱について」

を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

《非公開を解く》

(2) 報告事項

報告第1号 「令和5年度就学援助に係る当初認定件数について」

林学務課長：

お配りしております資料でございますとおり、本年度は6月15日現在、小学生431名、中学生259名の合計690名、認定率6.82%を準要保護児童生徒として認定しております。

本市の準要保護認定児童生徒数は、昨年度の同時期の認定数751名、認定率7.23%と単純に比較いたしますと、若干の減少となっておりますが、離職や収入減少などといった厳しい状況に置かれた児童生徒を持つご家庭から、年度途中での申請が提出されることも予想されますので、引き続き、適切に対応してまいりたいと考えております。

《報告事項第1号に対する質疑》

特になし

6. その他

特になし

7. 教育長閉会宣言